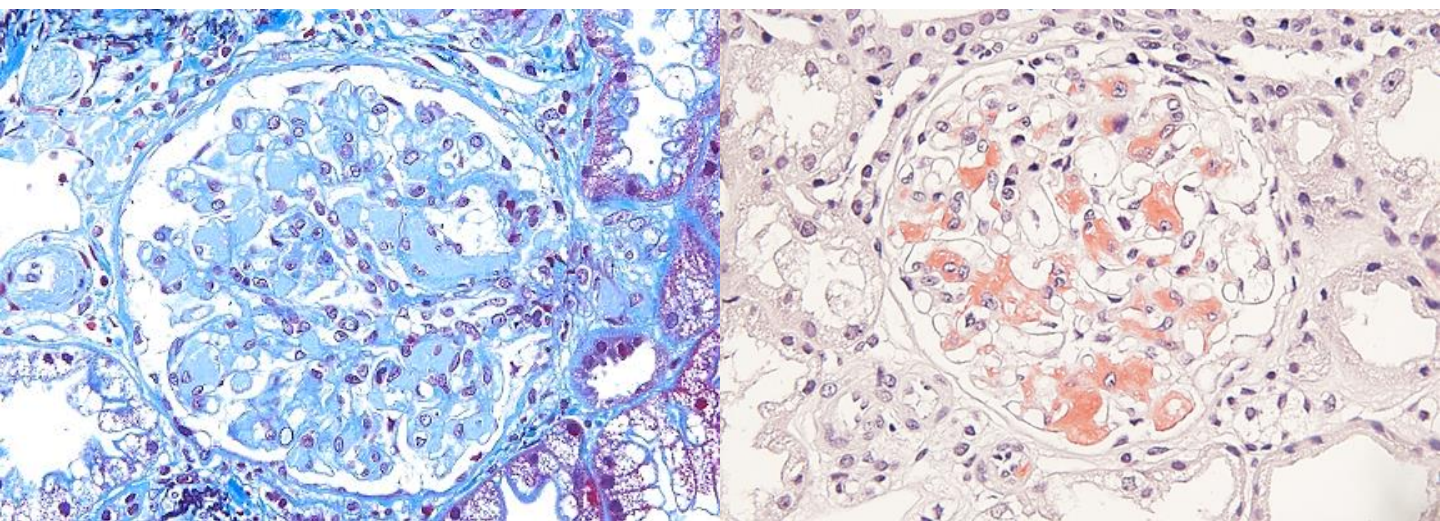


腎生検病理診断サービス



- 腎生検病理総合診断

- 光学顕微鏡的診断
- 免疫組織学的診断
- 電子顕微鏡的診断

その他のサービス

- 顕微鏡写真撮影
- 症例コンサルテーション

- 腎病理カンファレンス

(NPO法人北海道腎病理センター)

ユーロフィンジェネティックラボ株式会社

□ お問い合わせ

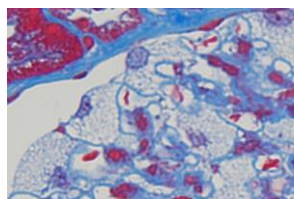
- Mail: patho@gene-lab.com
- 検査・サービスに関するお問合せ: 病理営業担当 TEL: 011-644-7333
- 診断に関するお問合せ: 腎病理センター/診断部門直通 TEL: 011-644-7316

腎生検病理総合診断サービス

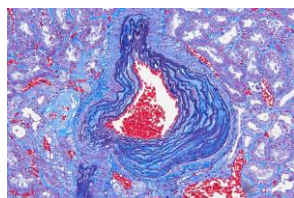
□ 光顕/IF報告書： 検体到着後 1～2週間程度

□ 電顕報告書： 検体到着後 2～3か月程度

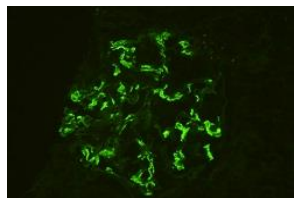
● 腎生検病理総合診断



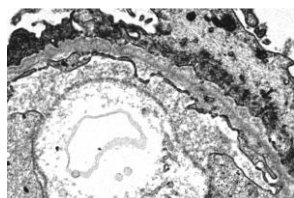
ファブリー病 (Masson染色)



動脈硬化 (Elastica-Masson染色)



IgA腎症 (IgA染色)



アルポート症候群

■ 光学顕微鏡的診断

概要：パターン診断として病名や疾患活動性の判定に重要です。

内容：光学顕微鏡標本【HE, PAS, PAM, Masson染色】による病理診断

*ご希望により上記染色スライド1組返却いたします。

■ 免疫組織学的診断

概要：病因診断として発症機序や病態の判定に重要です。

内容：ルーチンとして FITC標識抗fibrinogen, IgG, IgA, IgM, C3, C4, C1q抗体による染色 (IF)

* 移植腎生検は 上記7抗体 + 抗C4d抗体

オプション (有料) として蛍光標識免疫抗体 (IgG1, IgG2, IgG3, IgG4, PLA2R1) や その他の免疫抗体もご用意していますので、ご相談下さい。オプションの免疫組織染色は “基本セットに追加” となります。

■ 電子顕微鏡的診断

概要：光学顕微鏡、蛍光抗体法の診断を踏まえた補助診断です。

内容：電子顕微鏡用のブロック作製から、JEM-1400Plus (日本電子) による検索、さらに光顕、免疫蛍光所見を踏まえた電顕診断を行います。

基本セットに加えて依頼ください。

* 電顕診断のみのご依頼はお受けしていません。ブロックの返却・貸出はしていません。

総合診断は、腎生検の目的に応え、治療に直結する重要な診断です。

上記1-3の各診断を包括し、臨床情報とつぎあわせて生検時の組織から、疾患の成り立ちや病態を推定します。総合診断には臨床医との連携が不可欠であり、臨床情報の提供が最も重要です。依頼書への詳細な記載にご協力ください、必要に応じて、経過や各種検査結果などを伺うこともありますので、よろしくお願い致します。また、診断内容に対してのご相談は診断部門で随時お受けしています。

● 診断のための基本セット

■ 腎生検セット/移植腎生検セット

- 光学顕微鏡標本とルーチンの蛍光免疫抗体法による診断
検体提出方法は別途ご案内します。

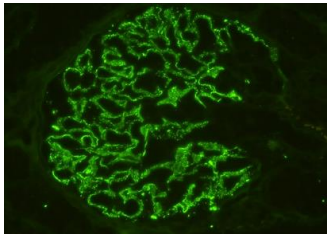
■ ご用意いただくもの

- 専用依頼書 (腎生検依頼書・移植腎生検依頼書) に経過と臨床データを記載
- 生検組織3片以上 (ホルマリン固定検体1片以上、凍結検体1片、電顕用保存1片)

注) 検体は最低3片提出してください。

生検困難で、少量検体で検索をご希望される際は、こちらで優先順位を決め検索いたします。

● 顕微鏡写真撮影サービス



膜性腎症 (IgG染色)

- 病理診断報告書には、全体の病理像がイメージできる画像や、診断の根拠となる特徴的な画像を中心に3~4画像を印刷したものを添付します。
- 電子媒体で必要な際は、CD-Rに画像を収録し、提供いたします (光顕、IFなど代表的な画像をセレクトして保存。JPEG形式、有料)
- 学会発表などに画像を使用されたい場合は、抄録等を添えて診断医に事前にご相談ください。

● 腎生検コンサルテーション・病態の推定

既存の腎生検病理標本 (光顕標本、免疫蛍光画像、電顕画像) と臨床情報をもとに病態を推定します。症例によって、必要な情報や追加染色 (別途 実費) について、ご相談ください。

● 病理診断医

難解例や希少例をはじめ、複数の病理専門医で適宜意見交換を行い、臨床に役立つ情報を提供します。

腎病理センター長/GeneticLab病理診断チームリーダー

腎病理コンサルタント/NPO法人北海道腎病理センター理事長

腎病理コンサルタント

腎病理顧問・アドバイザー

小川 弥生 (病理専門医番号: 第24-02327号)

立野 正敏 (病理専門医番号: 第1151号)

柳内 充 (病理専門医番号: 第3004号)

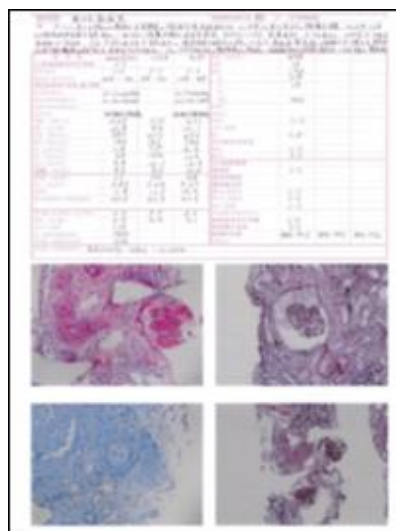
岩崎 沙理 (病理専門医番号: 第24-02860号)

長田 道夫 (病理専門医番号: 第24-01968号)

● 診断報告書の例



光顕・IF報告書 (A面)



光顕・IF報告書 (B面)



電顕報告書 (A面)

* 裏面に代表的画像2枚

ユーロフィンエネテックラボ株式会社 お問い合わせ

- Mail: patho@gene-lab.com
- 検査・サービスに関するお問合せ: 病理営業担当 TEL: 011-644-7333
- 診断に関するお問合せ: 腎病理センター/診断部門直通 TEL: 011-644-7316



腎病理カンファレンスと腎病理勉強会の開催

■ 概要

腎病理の診断精度向上には、臨床情報とのすり合わせや症例の蓄積が最も大きな役割を果たします。当センターにご依頼頂いた症例を中心に、簡単な臨床情報の呈示、病理所見の供覧、そして臨床病理学的な意見交換を主軸としてカンファレンスを開催しています。

その他、NPO法人会員を対象に、テーマを決めて、抄読会や勉強会を開催しています。

■ 開催日

- 腎病理カンファレンス：年1回（会員にメールなどでご案内しています）
参加費2,000円程度 開催様式による（NPO法人会員は割引あり）
※開催方法は、オンライン、ハイブリッド、または対面開催のいずれかとなります。
- 腎病理勉強会：年数回（テーマを決めて、会員メールでご案内します）
施設ごとの勉強会やカンファレンスも ご要望にお応えします。
学会発表もご協力しますので、抄録を添えてご連絡ください。

● カンファレンスの案内パンフレット



2010年5月10日から“特定非営利活動法人 北海道腎病理センター”を設立し、当腎病理診断部門のカンファレンスや学術的な拠点として活動しています。NPO法人北海道腎病理センターの活動内容やご入会は、下記ご参照下さい。

特定非営利活動法人 北海道腎病理センター

Website: <https://npo-hrpc.peatix.com/>

